

それからモーセは行って、次のことばをイスラエル全体に告げて、彼らに向かつて言った。「私は今日、百二十歳だ。・・・」

#### 申命記 31 章 1・2 節

皆さまは、自分の年齢を公表することに抵抗がありますか。聖書には年齢にこだわった人物がたくさん出てきます。

申命記 31 章以降はモーセの告別説教だと言われていますが、地上での人生の終りを見据えてモーセが意識したのは「年齢」でした。2 節ではモーセ自身のことばで「私は百二十歳だ」と公表しています。

本日は、この年齢を意識すると、どういうことが起こってくるかを、モーセの生涯から教えられたいと願っています。まず、自分の誕生の時を思い起こします。120 年前、

エジプトで生まれ、殺されるところを親の機転で助けられたこと。具体的な使命を与えられるのは、まだ先のことですが、今の 120 歳を意識した時、「自分は誕生の時から、神のご計画の中にいたのだ」と再認識したことでしょう。さらに年齢を意識すると、今まで生きてきた歴史を振り返ることになります。エジプトの王子として育てられたモーセですが、大きなジレンマと挫折を味わったのが 40 歳の時。ミディヤンの地で羊飼いの仕事をしながら「待つ」という忍耐の訓練を受け、神から使命を与えられ行動

に移したのは、80 歳の時でした。

私たちの人生はいかがでしょうか。救われた時、何歳で何をしていたか、その後の歩みの中で課題を抱え、それを乗り越えたのが何歳の時だったかを思い起こすことは意義あることです。そして、モーセは今 120 歳という年齢を迎えて、自分の限界を知ることになります。しかし、この「限界」はできない無念さと共に、「もう休んでいいのだ」という安堵を与えるものでもありません。年齢を意識すると「今しなければならぬこと、しなくてもいいこと」が見えてくるのです。自分の人生の最期を、よりよいものにするために事前に行う準備、そう、これは「モーセの終活」でした。

■礼拝出席者数 報告(1/3)

第一礼拝 17名

第二礼拝 15名

小学科礼拝 4名

小2 中1 高1



■みことばに触れましょう!

2021年 教団標語

「キリストのことばが、あなたがたのうちに豊かに住むようにしなさい。」

コロサイ人への手紙3章16節

コロナ禍で集まることが難しい今だからこそ、変わらずに共にいてくださる主のことばに触れましょう。

《みことばを読む》 コツコツと自分のペースで読んだり、デイポーションガイドを手掛かりにしたり、礼拝で開かれた詩篇や説教箇所を一週間読み続けたり。自分のスタイルに合わせてみことばに触れ、主に心向けましょう。

教会で配布の聖書通読表が必要な方はご連絡いただければ郵送します。スマホ、パソコンを使える方は「デイリーブレット」がオススメです。

《みことばを聴く》 聖書を自分で読めるようになったのは、実は近世になってから。それ迄聖書は「聴く」ものでした。

読むのは結構たいへんです。スマホアプリや聖書の音声CDを使わなければなりません。対応できる方は「みことばを聴く」ことに勤しんでは? スマホアプリ「聴くドラマ聖書」がオススメです。